



# 盛況だった20回目の卵の花音楽祭

7月15日は卵の花音楽祭でした。小山作之助の生誕160周年、20回目という節目のイベントだったこともあって、会場のかびき希望館大ホールには大勢の人が詰めかけました。今年初めて結成したという「卵の花ジュニア合唱団」がオープニングで「夏は来ぬ」を歌い、「大湊オカリナアンサンブル」「シニアコーラ

スさぎなみ」(上のイラスト)などが続きました。「夏は来ぬ」は4団体が歌いました。この歌はいろんなバージョンがあるんですね。いずれも素敵な歌になっていました。右はゲストの「アンサンブルオビリー」(弦楽四重奏)。ここでも最後は「夏は来ぬ」でした。



## 板倉区で何でも語ろう会

板倉区でこのほど「橋爪市議を囲んで何でも語ろう会」がありました。10数人の方が参加してくださいました。会では、「病院や買い物などでバスの運行が大事になってきている。区内だけでなく、区外にも行けるコミュニティバスを」「議会の請願、陳情は会派でなく、もっと議員個人の判断で対応すべきだ」「このままでは農業の担い手がなくなる。早急に手を打ってほしい」などの意見、要望が相次ぎました。



【コンロンカ】アカネ科の常緑つる性木本。漢字で「崑崙花」と書きます。別名は「ハンカチの花」。花期は7月～8月。黄色の花を咲かせます。がく片は緑、ピンク、白などがあり、花と勘違いする人も。花言葉は「南の風景」。風景が花言葉になっているのは珍しい。写真は7月13日、吉川区小苗代で撮影。

## コウノトリ、4羽すべて巣立つ

吉川区内で5月、4羽のヒナが誕生しましたが、その後、順調に育ち、7月13日(2羽)、14日、16日に4羽とも巣立ちました。巣立ったコウノトリは、今後、親からエサを獲る方法などを学び、2か月ほど生まれ育ったところにいるとのこと。この間のコウノトリの動きは、27日、28日、富岡のパーティオ上越の2階で行う「小さな作品展」でも紹介します。右は15日撮影。



はしづめ法一の  
活動レポート

No.2164 2024.7.21

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
Tel 025-548-3628  
通じないときは 090-5392-1961  
E-mail hasiznysg\_0808@yahoo.co.jp  
URL <https://www.hose1.jp/>



ブログ  
「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一

検索



# 春よ来い

## 第八一回

## 最後の巣立ち

一六日の午後、上越市富岡のパティオに  
いるときでした。コウノトリの巣の近くで  
田んぼを耕作しているＴさんから携帯電話  
がありました。

電話に出たら、Ｔさんはいきなり、「巣  
の中、いま、からっぽになってるよ」と言  
いました。

正直言って、「しまった」と思いまし  
た。じつは前日の夕方、四羽のヒナのうち  
まだ巣立っていない一羽が巣の上で盛んに  
ジャンプを繰り返しているところを見てい  
ました。一六日の朝もすでに巣立った一羽  
が最後の一羽に寄り添い、盛んにジャンプ  
を促していました。これまでの経験から  
言って、そう遅くない時期に巣立つ可能性  
が高いかと思っていたのです。

ところが、一六日の午後になったら、今  
月下旬に実施する「小さな作品展」の準備  
で動き回っていて、最後のヒナの巣立ちの  
ことが頭からすっかり離れてしまっていま  
した。

Ｔさんには、「すぐに行きます」と返事  
をし、「いま、何時かね」と訊きました。  
というのも、現地に行くまでの所要時間は  
四〇分弱でしたので、私が撮影場所に到着  
するまでに鳥が巣に戻っていないければ、  
「巣立ち」として認定できると思ったから  
です。車を走らせながら、「おれが着くま  
では巣に戻らないように」と祈りました。

富岡からは約三五分でわが家に到着。カ  
メラを用意して、すぐ車に乗り込み、いつ  
もの撮影場所をめざしました。

撮影の現場に着くと同時に、巣を見まし  
た。肉眼で見えるかぎり、巣の上にはコウノ  
トリの姿はありません。カメラのズームを  
伸ばしても姿はなし。これで巣から三〇分  
以上離れることという巣立ちの要件はクリ  
アしたことになります。「よし、やった」  
そう思いながら、総合事務所に最後の一羽  
の巣立ちの様子を報告しました。

吉川の営巣場所から一三日に巣立ったヒ  
ナたちは、巣立った後、近くの田んぼに下  
りていました。今回もそうなるかも知れな  
いと思って、田んぼの近くに住むＴさんに  
電話を入れると、「おらったりの田んぼ  
に、いま三羽いるよ。隣の町内会との境に  
も一羽いるみたいだ」という情報が入りま  
した。

そこでいったん、いつもの撮影場所を離  
れ、Ｔさんが見たという田んぼの見える場  
所まで移動しました。

車を移動している最中、巣の近くの田ん  
ぼのなかに、二ないし三羽のコウノトリの  
姿を確認できました。車を止めてから、三  
脚を使い、望遠ズームを使って見たら、一  
羽は母親、他はすでに巣立っている幼鳥で  
した。ただ、この時、最後に飛び立ったヒ  
ナの姿は見られませんでした。

しばらく田んぼの中の幼鳥たちの動きを  
見ていると、農道に上がり、歩いていま  
す。その姿は多少きこちなさはあるもの  
の、わずか三日前に巣立ったばかりとは思  
えないほど堂々とした歩きっぷりです。

五月の下旬に誕生したヒナたちは四羽。  
このうち二羽は一三日に、一羽は翌一四日  
に巣立っていました。残るは一羽。その段  
階で私には気になることがありました。最  
初に巣立った二羽のヒナたちが巣に戻っ  
てきたとき、身動き一つせず、巣にべったり  
と寝ているのがいました。いかにも具合が  
悪そう。それが最後のヒナだったのです。

二日後、そのヒナは巣の上で一分間に十  
回以上もジャンプを繰り返すほどになっ  
ていました。それでも、私は何かなければ  
いざと心の中で思っていました。

それだけに、最後のヒナが巣立ったこと  
を知ったとき、私は心の底からうれしくな  
りました。そして、この日の夜、私は久々  
にビールをひと缶飲み、巣立ちを静かに祝  
いました。



## 上越地域各消防署における 空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシー  
ベルト。1時間当たりの測定量です。  
消防署によると、通常は1時間当たり  
0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だ  
とのことです。

|        | 7月10日(水) | 7月17日(水) |
|--------|----------|----------|
| 上越南消防署 | 0.053    | 0.057    |
| 上越北消防署 | 0.043    | 0.047    |
| 新井消防署  | 0.050    | 0.050    |
| 頸北消防署  | 0.057    | 0.050    |
| 頸南消防署  | 0.063    | 0.067    |
| 東頸消防署  | 0.050    | 0.043    |
| 名立分遣所  | 0.060    | 0.053    |
| 高士分遣所  | 0.057    | 0.050    |

「コウノトリさん、ありがとうね」を发表へ  
上越にやって来たコウノトリへの思いが歌  
になりました。歌のタイトルは「コウノトリ  
さん、ありがとうね」。私も制作にかかりま  
せひお出かけください。



橋爪 法一 新曲『コウノトリさん、ありがとうね』  
小さな作品展 ＊発表！＊  
ピアス協賛ライブ♪  
午前の部・11:00～  
午後の部・14:00～  
【入場無料】  
7/27 (土) パティオ上越 中庭  
上越市大字富岡539-2

私の作品展はライブ会場近くの2階で27日、28日開催します。